

■スペシャルオリンピックスとは？

スペシャルオリンピックス(以下「SO」と表記。)とは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。1968年、故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバーが、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的障害のある人たちに、スポーツを通じた社会参加を応援するために設立したものです。「SO」の名称が複数形になっているのは「いつも、どこかで、だれかが、スポーツをしている」ということを表しています。また、「SO」では、これらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちに「アスリート」と呼んでいます。参加するアスリートが、スポーツを通じて健康や体力を養い、喜びを感じ、家族や他のアスリート、そして地域の人々と交流することで社会性を育むことをめざしています。

■スペシャルオリンピックス日本・奈良設立

設立のきっかけは、現在事務局をおいている「あゆみの会」のボランティアさんから、スペシャルオリンピックスの存在を聞いたことです。「SO」の「障害のある人たちと共に生きる地域を創る」という理念に共感し、その実現のためのひとつのアクションとして是非、奈良にも「SO」を設立しようということになったのです。そして、多くのボランティアさんや賛同者の協力を得て、2007年2月、スペシャルオリンピックス日本・奈良(以下「SON・奈良」と表記。)が誕生したのです。

■活動の中でめざすもの

「SON・奈良」では、「ナンバーワン」を決めるのではなく、誰でもオンリーワンの存在だというスタンスで、アスリート一人ひとりと向き合っています。また、「アスリート本人」、「ボランティアのコーチ」、「家族」の3者が協力し合いながら、ひとつになって活動することがとても大切だと考えています。アスリートが、自身で立てた目標に向かってスポーツに取り組み、継続する中で、成長する楽しみ、達成する喜びを、共に分かち合うことができる関係が育まれるよう工夫しながら、活動を続けています。

「SON・奈良」では、水泳、陸上、バスケットな

ど様々な競技に取り組んでいます。コーチもまたボランティアで行っていますが、アスリートの特性を理解するための学習の機会を提供するなどして、スムーズな活動につなげています。

アスリートが地域でスポーツ活動を行うことで、地域の人々にその存在を知ってもらうことができますし、また、アスリートは特別な存在なのではなく、地域の一人としてあたり前の存在として、受け入れられることにつながるのでは、と思っています。

■「SON・奈良」のこれから

「SO」の活動は、原則8歳以上の方が対象ですが、私たちは就学期前の子どもたちにも、スポーツに親んでもらえるようなプログラムも同時に展開しています。幼少のころからスポーツをすることで心身の成長を促し、成長してからもスポーツを続けることに繋がっていくのでは、と期待しています。

「SON・奈良」では、アスリートの成長を確認する記録会も行っています。「1番」を決めるのではなく、それぞれの目標を達成できたかどうかを確認し、その頑張りをみんなで認めて褒めることが最大の目的です。身近にいるコーチや家族に褒めてもらうという経験が、スポーツだけでなく日常生活も頑張ることができるようになるなど日々の生活に還元され、活かしていけるのです。

アスリートの頑張っている姿が、共に活動しているボランティアにも頑張る力を与えてくれます。そんな共に元気になれる活動にしていきたいと思っています。アスリート本人、コーチ、家族の3者が、みな楽しめるということが「SO」活動の醍醐味です。ぜひみなさんも、私たちの活動に参加してください。さらに活動の理念がたくさんの人に理解され、広がっていくことを期待しています。

♪ 知的障害のある人にスポーツを！ 共に生きる地域社会につなげる ♪
 ■ NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・奈良
 Special Olympics Nippon Nara

NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・奈良

■平成25(2013)年設立

■NPO法人SON 奈良事務局

〒631-0811

奈良市秋篠町1381-1

オープンスペースAYUMI内

TEL 0742-53-0511 / FAX 0742-53-0512

Special
Olympics
Nippon
Nara

